

「小学生のためのお仕事ノート」への掲載について

JFE 鋼板(株)(代表取締役社長:黒田茂)がこの度品川区の小学校3、4年生の児童に配布される「小学生のためのお仕事ノート 品川区版」に掲載されました。

「小学生のためのお仕事ノート」とはキャリア教育のための副読本として、株式会社中広様が発行している冊子です。東京都各区内に拠点を有する企業の仕事を子供に分かりやすく紹介することで、子どもたちが自分の暮らす地域の産業や具体的な企業について知ることができ、キャリア教育の発達や推進を促す内容となっております。

当社の項目では、鋼板とは何か、街中でどのように使われているのか、という商品の説明から、日々どのような仕事をしているのか、働く人の声として仕事内容などを紹介いただきました。

また、2025年3月発行予定の「中学生のためのお仕事ブック 港・千代田・品川・大田区版」についても掲載予定となっております。

当社は子どもたちへのキャリア教育の場を通して、地域社会に貢献してまいります。



**鋼板にさまざまな加工をすることで
みなさんの生活を快適にしています。**

JFE鋼板株式会社

所在地/品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー9階 TEL. 03-3493-1417
https://www.jfe-koan.co.jp 創立/1913(大正2)年6月 従業員数/452名(2024年3月末現在)



もっと、くわしく
みてみよう!

鋼板はどこで使われているの?

私たちの鋼板製品は、街中のさまざまな場所で使われています。

屋根やホワイトボード

出タックンヒーター

シャッター

建物の骨組み

体育館の外観

屋根

私たちの仕事

みなさんが生活している街には「鉄」を使ったものが多くあります。私たちは建物などの材料となる「鉄の板(=鋼板)」や、鋼板を加工した「金属屋根」を造る会社です。鉄はすぐにさびてしまうため、私たちは鋼板に特殊なコーティングをして美しく、長持ちするように作っています。さらに形を変えて屋根や壁の材料にすることで、地震や台風などの災害からみなさんの生活を守っています。



▲本社

「鋼板」ってなに?

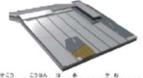
「鋼板」とは鉄の板のことです。厚さ0.5mmほどの鉄板を、さびさせないようにアルミニウムと亜鉛という金属で覆った「めっき鋼板」と、その上にカラフルな塗装をした「カラー鋼板」があります。鋼板は、直径約1m、重さ5トンの巨大イレットペーパーのような「コイル」に巻いて、お客さまに届けます。コイルの全長は最大約2,000mにもなるんですよ。

屋根や壁になる「カラー鋼板」

さまざまな形に加工したカラー鋼板は、軽くて強いという特長から、身近なものでは住宅や体育館の壁、工場の壁などに使われています。長いものは25年ほど使用でき、夜目を換えてもリサイクルされ、新しい鋼板に生まれ変わるエコな素材です。



▲塗装をしたカラー鋼板



▲加工した鋼板を巻きつけて屋根にします。

災害から守る試験もしています!

屋根は、地震や台風などの自然災害から建物を守る大切なものです。暑かたや雨もりなどの耐久性(さびや熱さ)試験や、常用耐震試験(台風やも飛びされない強さ)の試験を行います。



▲長期試験場内に置いて耐久性を調べています。

カーボンニュートラル活動

CO₂(温室効果ガス)の排出量をゼロにする「カーボンニュートラル活動」に取り組んでいます。たとえば工場では省エネ機器を多く取り入れ、鋼板を製造するときはCO₂の排出をなるべく減らしています。また、省エネにつながる製品の研究開発にも力を入れています。

環境にやさしい塗料を使用

屋根や壁に使われる「カラー鋼板」に新たな加工をすることで、汚れにくくしたり、太陽の高で室内の温度が上がるのを抑えたりすることもできます。また環境にやさしい塗料を使うことで、地球環境にも貢献しています。

働く人の声

住宅建機部
小山 建斗さん

お客さまに依頼された屋根の形状に合わせ、さまざまな金属屋根を設計しています。屋根にはいろいろな形があり、その形に合わせながら、パズルゲームのように屋根材の配置を決めています。自分で設計した建物が完成し、完成した建物を見たときは「がんばってよかったな」と思いました。

東京営業部(鋼板営業)
佐藤 将光さん

ビル内部の壁・床などに使う鋼板の営業をしています。鋼板には厚さ、硬さ、色、さびにくさなど多くの種類があり、営業所や技術部門と協力しながら、お客さまの希望に合ったものを提案できるときは達成感があります。この「お仕事ノート」を参考に興味のある仕事を探してみてくださいね!

8
9